

ランチョンセミナー/スイーツセミナーのご案内

ランチョンセミナー/スイーツセミナーの整理券を下記の時間帯に配布いたします。
なお、数に限りがございますので、無くなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。

配布場所：沖縄コンベンションセンター 劇場棟

配布時間：11月2日（月）・3日（火） 8時～11時（無くなり次第終了）

4日（水） 8時30分～11時（無くなり次第終了）

ランチョンセミナー1

共催：東芝メディカルシステムズ㈱

日 時：11月2日（月） 12時10分～13時10分

会 場：D会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B1）

座 長：目黒 靖之（東芝メディカルシステムズ株式会社 HIS事業部 HIS企画部）

演題名：沖縄県の小児・周産期医療と 医療情報ネットワーク

演 者：佐久本 薫（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 副院長）

少産少子化が進み、出生数が年間約100万人となりました。その中で沖縄県は出生率が12.2と全国1位です。しかし、早産児出生、低出生体重児の比率も高く、総合および地域周産期母子医療センターが緊密に連携し、ハイリスク妊娠、新生児の診療に当たっています。沖縄県の周産期医療の現状と周産期ネットワークを紹介します。離島診療所と県立病院との電子カルテを共有する地域連携についても述べたいと思います。離島の県立病院産科で行われる胎児超音波検査、特に胎児心エコー検査の診断支援ネットワークについても紹介します。小児の薬剤の適正な使用は大きな課題であり、小児に特化した治験も難しいのが現状です。国立成育医療センターを中心に行われていている小児医療情報収集システムに当院も参加しており、電子カルテの情報の利用、小児問診システムについて紹介します。

ランチョンセミナー2

共催：アライドテレシス㈱

日 時：11月2日（月） 12時10分～13時10分

会 場：E会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B2）

演題名：医療ICTの動向とネットワーク技術動向について

演 者：山下 芳範（福井大学医学部附属病院 医療情報部 副部長／准教授

総合情報基盤センター 副センター長、情報セキュリティ部門長）

情報技術の動向として、仮想化技術による効率化を活用したクラウド利用が広がる中で、新しい通信技術や通信モジュールを活用することでIoTと呼ばれる何でもネットワークに接続という流れもある。

これらを医療情報の中で活用することによって、これまでにない情報の活用の方法が生まれ、データ利用の方向性が大きく変わる。

仮想化やスマートデバイスの活用とともに、これからのIoT技術やこれに関連する技術動向は医療にとっても役立つものであり、IoT技術による各種機器のネットワーク接続によってこれまでの利用方法やデータ収集が大きく変わることが予想される。

実際に仮想化・スマートデバイスと合わせてIoTをどのような活用があるかを紹介する。

また、これらを支えるネットワーク技術も重要な要素でもあり、これまでの統合ネットワークだけではなく、認証LANやSDNやOpenFlowといった新しい利用方法もある。

医療系ネットワークではセキュリティが重要であるため、新しい流れであるセキュリティ上の脅威をOpenFlowと連携して被疑端末の通信フローを遮断などの新しい管理方法についても紹介する。

このような、これからの医療情報ネットワークで活用できる、ネットワークインフラの方向について考える。

ランチョンセミナー3

共催：富士フィルムメディカル㈱

日 時：11月2日（月） 12時10分～13時10分

会 場：F会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B5・6・7）

演題名：電子カルテの価値をより高めるための文書管理システム導入

～優れた病院情報システム構築による医療従事者の生産性向上 2nd Step～

演 者：松本 武浩（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療情報学 准教授/

長崎大学病院 医療情報部 副部長）

電子カルテの導入は医療の質や安全性、経営改善や業務効率化など様々な点で期待されているが、長崎大学病院ではこれらをふまえた上で医療従事者個々の生産性向上を意識したシステム化に取り組んできた。本院は2008年に電子カルテに移行したが、新病院開院と同時であったため、新病院の設備や機能、環境の変化を機に従来からの業務運用を一新し生産性向上を意識し最適化した新業務フローが効率的に遂行できるよう電子カルテの機能を充実させた。2008年の更新では、あらゆる業務を電子化し可能な限り紙運用を削減した点と最も利用頻度が高くインシデント発生も多い処方、注射オーダーを含めた薬剤管理を見直しカレンダー型の処方、注射システムを開発、導入したことが特徴であり、その結果、過去最大の診療報酬増と高い職員満足度を同時に実現した。2015年1月の3回目の更新では、処方オーダーおよび一般指示機能の改善に加え、文書管理システム「Yaghee」を導入し前回に引き続き病院情報システムの生産性向上に向けた改善を図った。近年、在院日数減少による業務負担が増大し人材確保も厳しい中、電子カルテシステムを有効活用した生産性向上は収益増と業務負担軽減を同時に実現する可能性があり有効な手段と考えられる。長崎大学病院での取り組みについて紹介する。

ランチョンセミナー4

共催：日本オラクル㈱

日 時：11月2日（月） 12時10分～13時10分

会 場：G会場（カルチャーリゾートフェストーネ・研修室A・B・C）

司 会：堀口 豊樹（日本オラクル株式会社）

挨拶：白石 昌樹（日本オラクル株式会社）

演題名：医療情報分野におけるデータ・セキュリティ、考え方とその仕組み

演 者：大澤 清吾（日本オラクル株式会社）

情報セキュリティ問題が多発する昨今、医療機関においても状況は同じく、数々のインシデントに関するニュースが発表されております。

最近では、標的型攻撃と呼ばれる明確な意図を持った攻撃が医療機関に対してなされることもありました。

攻撃手法が非常に複雑、巧妙になっている現在の攻撃は、従来のネットワークやエンドポイントセキュリティ対策だけでなく、守るべきデータを中心にセキュリティ対策を施す必要があると我々は考えております。また、クラウドサービスの活用機運が盛り上がる中、セキュリティ対策の重要度は増すばかりです。

「データ暗号化」「アクセス制御」「運用の自動化・可視化」をキーワードに最近のインシデント事例や医療情報システムの安全管理に関するガイドラインからひもとくデータセキュリティの在るべき姿をご紹介します。

ランチョンセミナー5

共催：インテル(株)／日本マイクロソフト(株)

日 時：11月3日(火) 12時10分～13時10分

会 場：C会場(沖縄コンベンションセンター会議棟A・会議場A2)

座 長：遠山 仁啓(日本マイクロソフト株式会社)

演題名①：看護部長の立場から見た最新ICT利活用

演者①：菊地 雅文(社会医療法人 緑泉会)

急激に進化するICT技術を活用することで、院内のコミュニケーションを改善し、病院経営に良い効果をもたらすことができるのか。

看護部長の立場からICT利活用のポイントと想定される効果を整理し、今後の院内コミュニケーション基盤の検討を進めるためのアイデアをご紹介します。

演題名②：Windows 10 及び タブレット活用のケーススタディご紹介

演者②：遠山 仁啓(日本マイクロソフト株式会社)

最新のOSであるWindows 10、併せて展開される新しいデバイスについて、医療機関での活用を見据えてをご紹介します。

また、院内の活用が進んできているタブレットPCの活用シナリオ、ケーススタディをご紹介します。

ランチョンセミナー6

共催：インターシステムズジャパン(株)

日 時：11月3日(火) 12時10分～13時10分

会 場：D会場(沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B1)

座 長：植松 裕史(インターシステムズジャパン株式会社)

演題名：医療連携最前線

演 者：ケリー・ストラットン(インターシステムズコーポレーション

アジア太平洋地区担当取締役)

インターシステムズは、医療向けのデータプラットフォームおよび連携プラットフォームを提供する医療IT技術のグローバルリーダです。アメリカ、イギリス、スウェーデン、オーストラリアをはじめとする世界各国、各地域での医療連携、医療情報統合のプロジェクトに貢献しており、日本においても先進的な多くの医療機関様にご活用いただいています。

この講演では、インターシステムズが携わるグローバルでの先進の医療連携の取組みをご紹介します。医療連携に関わる多くの課題を克服し、具体的に効果を上げる連携の仕組み作りを実現する基盤構築について考察します。さらに、ゲノム医療などの最先端医療でのIT活用をご紹介します。連携プラットフォームの重要性と連携プロジェクトにおける課題、それを成功に導くための必要要件について論じます。

ランチョンセミナー7

共催：櫛大黒

日 時：11月3日（火） 12時10分～13時10分

会 場：E会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B2）

座 長：本多 正幸（長崎大学病院）

演題名：手術部での診療材料の実施入力について

演 者：徳田 真一（大黒 病院支援事業部）

長崎大学病院では2015年1月より、病院情報システムのリプレースを行いました。物流管理システムについても今回稼働の手術支援システムとマスターおよびデータ連携を行いました。手術部では、電子カルテからの事前オーダーで医薬品などの事前準備業務を行っていますが、オーダーがほとんど行なわれない診療材料については、看護スタッフが術式や担当医師から術前セットを作成対応していました。今回術前セットに対しての問題点や課題について整理し、新術前ピックアップシステムを物流管理システムに構築しました。本システムでは、術前セットを元に診療材料の実施入力を行い、手術支援システム経由で電子カルテへ送信し医事請求データとして利用できるようにしました。また同時に持込材料の使用状況を把握し、未登録マスターの即時登録による実施データの入力、送信管理を行っています。今回のセミナーでは手術部での診療材料の実施入力について、術前セットに対しての問題点や持込み材料の使用状況の把握など今後の課題の対応状況について報告いたします。

ランチョンセミナー8

共催：ウィンマジック・ジャパン(株)

日 時：11月3日（火） 12時10分～13時10分

会 場：F会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B5・6・7）

演題名：医療情報を保護するクライアント端末の情報漏洩対策

演 者：宮崎 崇（ウィンマジック・ジャパン(株)）

今日の医療機関は、医療情報の電子化に加えてデータセキュリティとプライバシーに対して細心の注意を払い始めています。また、医療分野の専門家が業務でモバイルデバイスを活用する機会もますます増加しており、機微なデータを確実に保護するためには適切なセキュリティ対策の実施が不可欠となっています。紛失や盗難、あるいは不正アクセスが発生したデバイスは、データの窃盗犯が目的の機密データを入手する格好の侵入口となります。その結果、重大なデータ侵害が発生し、高額な賠償金などの金銭的損失、組織に対する信頼の喪失に繋がるケースも少なくありません。

本セッションでは医療現場で有効な情報漏洩対策についてご紹介致します。

ランチョンセミナー9

共催：富士ゼロックス(株)

日 時：11月3日（火） 12時10分～13時10分

会 場：G会場（カルチャーリゾートフェストーネ・研修室A・B・C）

座 長：武田 裕（滋慶医療科学大学院大学 学長、大阪大学 名誉教授）

演題名①：診療記録統合管理システムのこれからの展開

演者①：武田 理（大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 助教）

演題名②：電子カルテでの診療記録監査 ～データで監査するか、文書で監査するか～

演者②：藤井 歩美（大阪大学医学部附属病院 医療情報部 診療情報管理士）

近年、多くの病院で電子カルテの導入が進み、紙の診療記録をなくすことに成功した。一方、診療記録の管理、情報収集の観点で、現在の電子カルテの機能が十分とは言い難い。

我々は、診療記録の長期の見読性を保証するために、全ての診療記録をPDF等で統合的に管理する診療記録統合管理システム（DACS）を導入し、5年が経過した。DACSでは、部門システムを含む様々なシステムで生成される診療記録を1画面に整理して閲覧することが可能であり、診

療記録管理、患者病歴把握に必須のツールとなっている。本セミナーでは大阪大学の考える DACS のこれからの展開を概説する。一つ目は、診療記録の監査機能である。患者イベントに関連する文書の登録により、関連文書の有無を監査することで、診療記録のリアルタイム監査を可能とした。二つ目は、医師が DACS 上で他院に公開する診療記録を選択する新しい形の地域連携システムである。

ランチョンセミナー10

共催：㈱ファインデックス

日 時：11月3日(火) 12時10分～13時10分

会 場：H会場(カルチャーリゾートフェストーネ・多目的ホール)

司 会：長谷川 裕明(株式会社ファインデックス)

テーマ：ドキュメント/データハンドリングの最新事例

～データ連携と業務フローの見直しがこんなに効くんです～

演題名①：予約、紙スキャン、CD出力：より効率的なシステムの在り方

演者①：田中 勝弥(東京大学医学部附属病院企画情報運営部 副部長)

演題名②：データ運用を大きくサポート 難病の指定医番号と退院調整支援

演者②：渡辺 宏樹(国立病院機構東京病院 情報管理部長)

病院における診療情報は、電子カルテを中心としたシステムで確実に管理しうる時代となってきました。しかしシステム間連携が十分機能しない部分があるために日々の業務に支障をきたしているというご意見も、多くの医療機関で聞かれます。今回はデータの連携方法や業務フロー見直しを行うことで実践的な成果を得られている医療機関の先生方に御講演をいただきます。前半の田中先生には、診療予約情報の問い合わせ対応業務、画像検査結果の出力業務、および紙のスキャン情報の取り扱い、これらを統合的に見直すことで得られた効率化に関して、後半の渡辺先生には、文書システムの業務フロー見直しで浮かび上がった課題、すなわち昨年制度改正された難病認定診断書等の指定医番号対応、退院調整支援業務における病棟看護師との情報連携について、これらの分析がどのように行われ、課題解決につなげていったのか、というお話を頂戴いたします。皆様奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

ランチョンセミナー11

共催：フォーティネットジャパン㈱

日 時：11月4日(水) 11時45分～12時45分

会 場：D会場(沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B1)

座 長：山田 麻紀子(フォーティネットジャパン㈱ プロダクトマーケティング部)

演題名：電子カルテの効率的な利用と情報漏えいの防止を両立する

次世代セキュリティ無線 LAN ソリューション

演 者：山田 麻紀子(フォーティネットジャパン㈱ プロダクトマーケティング部)

院内に無線 LAN を配備し、その上で電子カルテを利用することでドクターや看護師の業務効率の向上を促進させることが一般化してきました。ユーザ認証と強固な暗号化方式を利用することで、個人情報のかたまりといえる電子カルテ情報を保護しようとしている院内ネットワーク管理者様は多いでしょう。本セッションでは、WPA2 エンタープライズで保護された無線 LAN 上で、HTTPS を利用したセッションをハイジャックし、アカウントの搾取と、なりすましを行うデモをご覧いただきます。また、このようなセキュリティ脅威に対抗する手段も併せてご紹介します。

ランチョンセミナー 1 2

共催：アルバネットワークス㈱

日 時：11月4日(水) 11時45分～12時45分

会 場：E会場(沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B2)

座 長：安藤 博昭(アルバネットワークス㈱ 営業統括)

演題名：これからの院内無線ネットワークのご紹介

演 者：安藤 博昭(アルバネットワークス㈱ 営業統括)

アルバネットワークスは院内ネットワークに求められる高セキュリティ、高信頼性の無線LANを中心としたトータルネットワークソリューションで電子カルテや音声、画像など多用途でも安心してお使いいただけるネットワークを提供します。また、端末の位置情報を利用したソリューションなど医療現場での新たな活用方法についてもご提案させていただきます。

ランチョンセミナー 1 3

共催：トレンドマイクロ㈱

日 時：11月4日(水) 11時45分～12時45分

会 場：F会場(沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B5・6・7)

座 長：萩原 健太(トレンドマイクロ㈱ 統合政策担当課長兼 TM-SIRT チーム統括責任者)

演題名：標的型サイバー攻撃の脅威から組織と情報を守る

～マイナンバーを成功させるセキュリティとは？

2015年の年金機構のセキュリティインシデント報道後、標的型サイバー攻撃の被害や情報漏えいの報道が相次ぐ一方、マイナンバー制度施行に伴い、2016年1月より個人番号の利用が開始されます。現在、そして将来はどのようなリスクが見込まれ、どのような施策をとることが効果的でしょうか。本セミナーでは、医療機関を取り巻くサイバー攻撃や情報漏えいの脅威動向をご紹介し、情報漏えいのリスクを最小化するための、技術的・組織的対策を医療機関以外の団体や機関での検討状況を盛り込みながら解説いたします。

ランチョンセミナー 1 4

共催：㈱インターネットイニシアティブ

日 時：11月4日(水) 11時45分～12時45分

会 場：G会場(カルチャーリゾートフェストーネ・研修室A・B・C)

演題名①：最近のサイバー攻撃事情

演者①：齋藤 衛(サービスオペレーション本部 セキュリティ情報統括室 室長)

昨年来、日本国内においては標的型攻撃による情報漏えいなど事件が頻発しており、また米国においては保険機関などから機微な情報が漏えいするような事件も発生しています。

ここでは、標的型攻撃を中心に、その発生状況や、技術的側面を解説するとともに、この状況への対策のための技術的な方策や、政府や民間団体の活動について、具体的な事例を交えてご紹介いたします。

演題名②：IIJのヘルスケア事業への取り組み

演者②：喜多 剛志(経営企画部 ヘルスケア事業準備室 シニアコンサルタント)

本セッションでは、IIJの強みであるネットワーク、クラウド、セキュリティ技術を背景とした、ヘルスケア事業への取り組みについてご紹介させていただきます。

スイーツセミナー 1

共催：VUEMウェア(株)

日 時：11月2日（月） 15時15分～16時15分

会 場：D会場（沖縄コンベンションセンター会議棟B・会議場B1）

座 長：吉岡 公裕（VUEMウェア株式会社 エンタープライズ 営業本部 公共第2営業部）

演題名：最新仮想化活用例に学ぶ 病院情報システムの事例と課題

演者①：飯田 征昌（公立大学法人 名古屋市立大学 医学部管理部病院医事課

病院情報システム係 技師/上級医療情報技師（日本医療情報学会）

演者②：吉村 尚樹（VUEMウェア株式会社 テクニカルサービス統括本部 公共SE部）

相次ぐ情報流出事件の発生やマイナンバー制度の発足など、セキュリティ強化の対応は医療機関にとって急務です。

一方で、経営の観点では効率的なシステム構築・運用が求められています。

本セミナーでは、デスクトップ環境とサーバの仮想化を通じて情報システムの集約とセキュリティ強化を達成されたお客様の事例をご紹介・解説するとともに、インターネット/メール環境とローカル環境の分離といった今後必要となる高いセキュリティレベルへの対応と、利便性を損なわず電子カルテなどの先進システムを導入できる手法をご紹介します。仮想化およびセキュリティ対策にご興味のある方は是非ご参加下さい。